

輝く未来へ羽ばたく新入社員

～両親への感謝を胸に～

【1年の気持ちの変化】

私はこの会社に入ったと同時に大阪から富山に来ることになり右も左も分からないまま働くことになりました。まず初めにぶつかったのは方言の違いでした。私は大阪出身なので関西弁がなかなか抜けず、標準語に慣れる事がすごく大変でした。指導も初めてで富山の方言を聞く事も初めてだったので、私の中で違和感もなくストレスを感じていました。親元を離れての一人暮らしは、社会人になった自覚がより大きく芽生えたようで、親元を離れないとわからない両親のありがたみや感謝の気持ちを感じることもできました。親がここまで育ててくれたおかげで今の自分があるとすごく実感でき、時には挫けそうな時もありましたが、支えてくれたのは父や母の存在でした。そんな両親の温かさを感じた時一人で涙した日もありました。この1年私にとって全てが新たな挑戦の年でした。富山で一人暮らしをしていなかったらこのような気持ちの変化はなかったと思っています。この経験を糧に自分自身を成長させる事ができるよう、これからの日々も感謝の気持ちを忘れずに同期とも力を合わせ頑張ります。

【来年度に向けて】

この1年で来年度の課題が見えて来ました。大事なのは自分なりのビジョンをしっかりと思い描くこと。正課指導やクラブで、1年後子供にどこまでできてほしいか、どこまで教えられるのかをしっかりと考える事で子どもの満足に繋がると思うので、先を見越して指導をして行こうと思います。今年の反省点を来年度に生かして自分の指導力を高めて子供たち全員を満足させられるように頑張ります。

【先輩社員からのエール】

一人暮らしをして、改めて親の有難みを感じた！素晴らしいですね！

私も転勤で北陸金沢に行って、たくさんの方と出会い、学ぶ事が多くありました。今でもこの5年間は忘れられません。富山は今年雪が多く大変だと思います。風邪ひかないで頑張って下さいね。これからも活躍応援しています。

私は愛知県出身ですが、35年前新入社員での配属が行ったことのない千葉県で一人暮らしでした。両親にたくさん心配をかけながらも暖かく見守ってもらい「負けて帰ったら両親に申し訳ない」と頑張ることができました。頑張れ！応援しています。